

# 第62期 株主通信

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで



高原にて(夏) 1979年(昭和54年) 西川一平(前会長)

## 株主の皆様へ



代表取締役社長  
西川 正洋

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

先般の東日本大震災により被災されました皆様に、謹んでお見舞い申し上げますとともに一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

ここに当社グループ第62期（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）の株主通信をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府による様々な景気対策や中国を中心とする新興国での市場拡大による生産の回復など、緩やかではありますが景気回復の兆しが見えておりました。しかしながら、本年3月11日に発生した東日本大震災の影響を受け、原材料等の供給不足に伴う国内主要企業の生産活動低下が見込まれるほか、原油価格の再上昇、消費マインドも自粛ムードが広がるなど、先行きは非常に不透明な状況にあります。

このような状況のもと、当企業集団は主力の自動車用部品で世界最軽量クラス（当社調査）のドアインナーウェザーストリップを開発するなど、環境対応部品を強化し積極的に拡販活動を行ってまいりました。また、アジア諸国の好調な景気に支えられた結果、当期の売上高は520億19百万円（前年同期比10.8%増）となりました。

利益につきましては、年度末に東日本大震災の影響を一部受けたものの、西川ゴムグループ総コスト低減活動を推し進めた結果、営業利益は47億75百万円（前年同期比33.6%増）、経常利益は54億53百万円（前年同期比32.4%増）、当期純利益は38億28百万円（前年同期比5.9%減）となりました。

今後の見通しにつきましては、東日本大震災の影響がどの程度になるのか予測が困難であり、当社業績に与える影響は不透明な状況にあります。

こうした状況のもと、当企業集団は引き続き全社一丸となって西川ゴムグループ総コスト低減活動を推進し、従来の高い品質と技術力にさらなるコスト競争力をあわせ持ち、最大限の収益確保を目指してまいっている所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年6月

代表取締役社長 西川 正洋

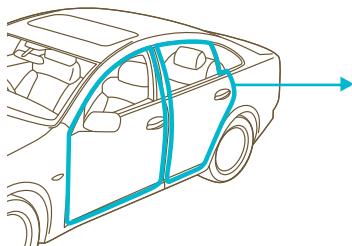
# トピックス

## ■世界最軽量クラスの「ドアインナーシール」 質量比25%減を実現

ドアインナーシールは、自動車ボディ側のドア開口縁に取り付けられるウェザーストリップで、ドア側に取り付けられるドアアウターシールとともに、車外からの水や音の侵入を防ぎ車内空間を快適に保つための重要なシール部品です。また同部品はボディ端部周辺を覆う内装部品としての一面もあわせもっています。自動車の燃費向上の潮流が加速し部品に対する軽量化のニーズが高まっている現在、当社は従来仕様品との質量比25%減(当社比)という世界最軽量クラス(当社調査)のドアインナーシールを開発・製品化いたしました。

ポイントとなる技術は、車体への保持力やシール性能を維持しつつ軽量化を図った点にあります。当社独自の発泡技術である微細セル化発泡によりゴムの強度低下を抑え、加えてインサートメタルを極限まで薄肉化することでこれらを克服しました。同部品は今年初旬から量産車にて採用開始しております。

今後も省資源やCO<sub>2</sub>削減など地球環境に寄与すべく、発泡技術の深耕・進化によりさらなる軽量化を図っていく所存です。



製品概要図



断面写真

## ■グローバル展開の強化に向けた 取り組み

当社は、主要顧客のグローバル展開に的確に対応していくため、世界の各拠点で事業基盤の強化を図っています。

今年3月には、長年にわたって協業関係にある米国法人クーパー・スタンダード・オートモーティブ Inc. (CSA) との連携をさらに深めることとしました。CSAと共同で設立した米国法人ニシカワ・スタンダード・カンパニーLLCの当社出資比率を高め、連結子会社化しました。また、その他の資本政策を通じて、米国のみならずタイやポーランド、メキシコなどにおける自動車用部品事業の拡充を図っています。

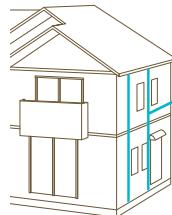
同じく3月には、韓国に孫会社「NISHIKAWA BUSSAN KOREA Inc.」を設立しました。これは当社100%出資の西川物産株式会社が、アジア圏における現地生産に対応するために設立した現地法人です。ゴム・各種化成品などを生産し、海外顧客への対応と製品の拡販を目指します。



## ■防火機能をあわせもつ「目地ガスケット」が、住宅メーカーで採用に

当社の住宅関連製品のひとつに目地ガスケットがあります。これは住宅の外壁の目地(継ぎ目)に取り付けることで、外壁との一体感を持たせるとともに、防水機能を果たす製品です。今回、新たに「防火機能を備えた目地ガスケット」(特許出願中)を開発し、上市いたしました。

新製品は当社が得意とする押出技術を活かし新素材(防火材)との複合押出しによって開発に成功したものです。今後さらに住宅の性能アップに努めてまいります。



目地ガスケット

# 連結業績概況

## 連結業績概況

### 西川ゴムグループ総コスト低減活動の効果により大幅増益を達成

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府による様々な景気対策や中国を中心とした新興国市場の拡大によって生産の回復、企業収益の改善が続き、緩やかではありますが景気回復の兆しが見えておりました。しかしながら、雇用情勢などは依然として厳しく、個人消費の低迷や急激な円高などにより本格的な回復には至りませんでした。

このような状況下におきまして、当企業集団は主力の自動車用部品で軽量化ドアインナーウェザーストリップを開発するなど、

環境対応部品を強化し積極的に拡販活動を行ってまいりました。またアジア諸国の好調な景気に支えられた結果、当期の売上高は520億19百万円（前年同期比10.8%増）となりました。

利益につきましては、東日本大震災の影響を一部受けたものの、西川ゴムグループ総コスト低減活動を推し進めた結果、営業利益は47億75百万円（前年同期比33.6%増）、経常利益は54億53百万円（前年同期比32.4%増）、当期純利益は38億28百万円（前年同期比5.9%減）となりました。

## 連結財務ハイライト

### ■企業集団の財産および損益の状況の推移

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
売上高 (百万円)	58,033	50,148	46,938	52,019
経常利益又は経常損失(△) (百万円)	4,107	△129	4,120	5,453
当期純利益又は当期純損失(△) (百万円)	2,397	△1,744	4,069	3,828
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△) (円)	122.99	△89.41	207.97	195.60
総資産 (百万円)	63,650	56,866	64,318	71,835
純資産 (百万円)	37,987	32,734	37,511	42,077
1株当たり純資産額 (円)	1,933.15	1,663.29	1,909.87	2,058.92

(注) 「1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)」は、自己株式控除後の期中平均発行済株式数により算出しております。



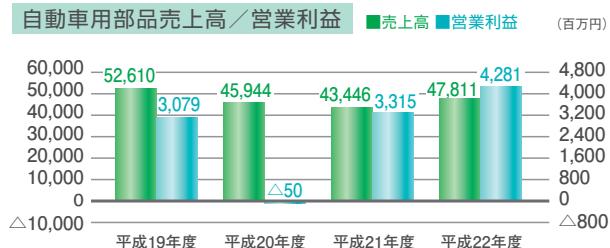
(注) △は損失を示しております。

# セグメント概況

## 自動車用部品

### 市場成長率を上回る売上高を達成

新製品の受注や、アジア諸国の好調な景気に支えられた結果、売上高は478億11百万円と市場成長率を上回る売上高を達成しました。営業利益についても総コスト低減活動が功を奏し42億81百万円となりました。



(注) △は損失を示しております。

## 一般産業資材

### 住宅関連事業が好調に推移

主力分野である住宅関連製品において棟当たり受注単価を上げる活動を推進した結果、売上高は42億8百万円となり、営業利益については、自動車用部品事業と同様に総コスト低減活動を強力に推進した結果、4億93百万円となりました。



FY2011 and Beyond

# 次期の見通し

## お客様のニーズに対応しつつ、西川ゴムグループ総コスト低減活動を強力に推進

今後の見通しにつきましては、東日本大震災の影響がどの程度になるか予測が困難であり、当社業績に与える影響は不透明な状況であります。このような状況の中当企業集団は、以下のとおり事業展開・活動を推進し、業績の向上に努めてまいります。

### ①自動車用部品事業

- 既存の製品において機能・性能で世界一と言える製品開発を行う
- 各自動車メーカーのニーズに対応した新規品、新市場への参入
- 西川ゴムグループ総コスト低減活動の推進

### ②一般産業資材事業

- 住宅関連製品・・・外壁目地材以外の周辺部材受注活動の推進、棟当たり単価アップへの取り組み
- 化粧用パフ・・・新材料・新技術による機能性に優れた新製品の開発、グローバルでの拡販活動

### ③海外展開

- 米国法人クーパー・スタンダード・オートモーティブInc.との連携強化
- 新興国市場に対しての販売活動ならびに現地事業化の推進

### ④技術・生産・品質面

- 各自動車メーカーのニーズに対応した新技術を開発
- 出荷生産指示方式の全社展開
- 自工程完結活動を推進による品質ロスコスト低減

## 自動車用部品

# 高度な合成ゴム技術をもとに お客様のニーズに応える自動車関連部品

当社の主力製品は自動車用ゴム部品です。自動車の部位に従ってさまざまなタイプを生産しており、高度な技術に基づいて精密加工を実現しています。これまでに国内すべての自動車メーカーへの納入実績があり、国内トップシェアを確保しています。部品の開発に際しては、新車の開発段階から参画し、機能やデザイン、素材といったあらゆる面での技術対応に、お客様から高い評価をいただいています。年々、高度化・複雑化する技術的課題にも積極的に取り組み、その豊富なノウハウを新たな部品の開発に活かしています。

## ウェザーストリップ・ドアインナー

人間工学に基づき、部品としての挿入作業性と保持力を両立。また、ドアの曲線にフィットした断面形状を実現するなど、常に高品質を追求しています。



## ウェザーストリップ・ドアアウター

ドアの構造に適合した断面形状により、高い防水性や遮音性、ドア閉じ性を実現しています。また、外観に配慮したデザインにも配慮しています。

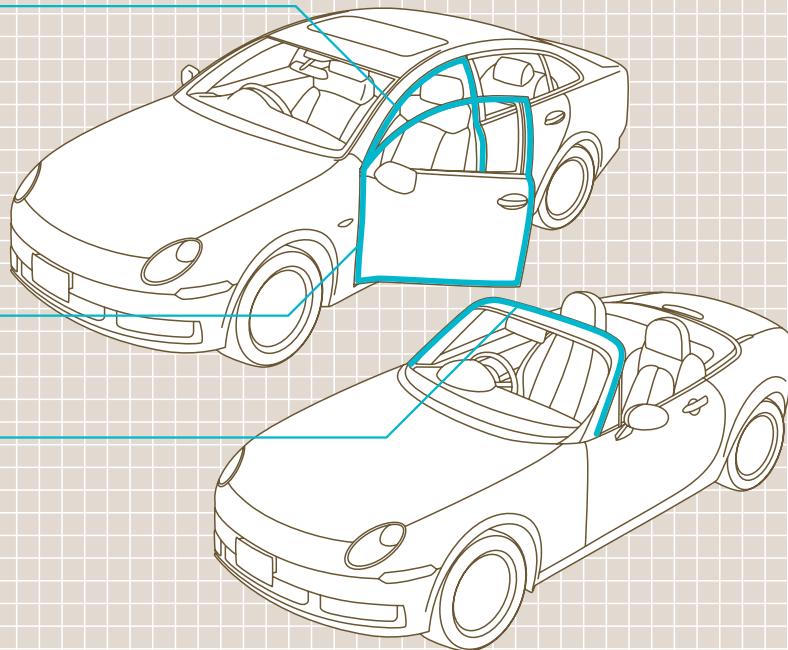


## ウェザーストリップ・コンバーチブルヘッダー

高い水密閉性が求められるコンバーチブル車などに取り付けられる特殊なウェザーストリップ。高度な設計技術で部品ニーズに応えています。



快適なカーライフを支える西川ゴム工業の主な製品



## テクノロジー①製造技術

### 独自発想の装置・設備で、低コストと高品質の両立へ

当社では常に最良の製造工程を構築するため、独自の発想で生産技術の革新に取り組んでいます。その活動の一環として、生産設備の開発を自社内で積極的に行っています。省力化をはかる自動加工装置や多品種小ロット生産に適した部品供給装置、そして品質保証の為に自動検査装置など、コストダウンと高品質の両立に向けた装置を数多く生み出しています。



## テクノロジー②解析技術

### ゴムの「粘弾性特性（レオロジー）」を活かした製品づくり

ゴムは大きく自由に変形しながら接触面に馴染むという性質を持っており、とても有用な工業材料といえます。しかしながら、弾性と粘性の中間に位置する複雑な物性を持つため、それらの特性を熟知し使いこなすことが出来て初めて優れた製品づくりが可能となります。当社はこの粘弾性特性をはじめとするレオロジー分野の視点に基づいて、ドア閉じ性能が良好で防音性が高い材料を開発しています。



## 一般産業資材 (医療関連)

# 急速に技術革新を遂げる医療分野に対応する精密ゴム製品

当社独自の精密化技術に基づいて開発される輸血・輸液用シール材および薬液塗布用スポンジゴムなどの製品は、クリーンルームの中で生産され、薬事法などの厳しい規格に適合しています。今後もより良い製品づくりを通じて、医療への貢献を目指します。

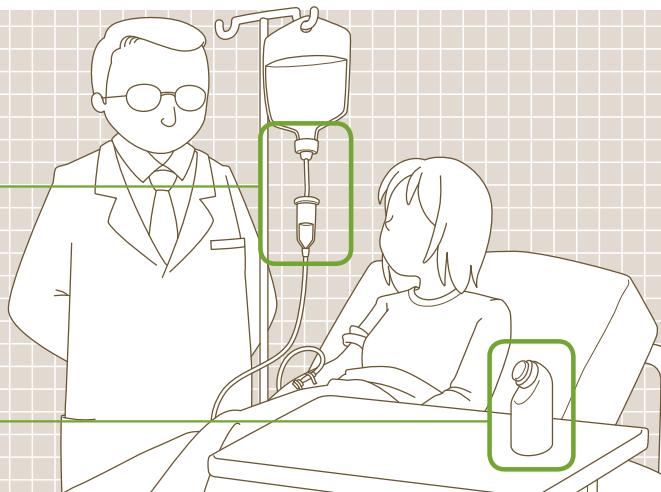
### 輸血・輸液用シール材

患者さんへの点滴時などに欠かせないシール材。当社では常に安全な製品をお届けするため、高度な材料技術とクリーンな環境のもとで生産を行っています。



### 薬液塗布用スポンジゴム

当社では、さまざまなタイプの薬液に対し最適な風合いを持ったスポンジゴムを製造しています。適度な保液性を持たせるなど、医療の現場で使いやすい製品づくりを進めています。



# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当 期	
	当期 (平成23年3月31日現在)	前 期 (平成22年3月31日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	37,500	32,484
固定資産	34,334	31,833
有形固定資産	20,128	19,615
無形固定資産	2,899	759
投資その他の資産	11,307	11,459
資産合計	71,835	64,318
<b>負債の部</b>		
流動負債	25,362	15,787
固定負債	4,395	11,019
負債合計	29,757	26,807
<b>純資産の部</b>		
株主資本	41,990	38,552
資本金	3,364	3,364
資本剰余金	3,660	3,660
利益剰余金	35,392	31,955
自己株式	△427	△427
その他の包括利益累計額	△1,688	△1,165
その他有価証券評価差額金	942	1,120
為替換算調整勘定	△2,630	△2,286
新株予約権	5	10
少数株主持分	1,769	113
純資産合計	42,077	37,511
負債・純資産合計	71,835	64,318

## 連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当 期	
	当期 (自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)	前 期 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)
売上高	52,019	46,938
売上原価	40,777	37,191
売上総利益	11,242	9,747
販売費及び一般管理費	6,467	6,173
営業利益	4,775	3,573
営業外収益	1,114	1,173
営業外費用	435	626
経常利益	5,453	4,120
特別利益	832	165
特別損失	1,076	35
税金等調整前当期純利益	5,209	4,249
法人税、住民税及び事業税	1,191	187
法人税等還付税額	—	△31
法人税等調整額	171	11
少数株主損益調整前当期純利益	3,846	—
少数株主利益	17	12
当期純利益	3,828	4,069

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	当 期	
	当期 (自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)	前 期 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,406	7,082
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,865	△7,549
財務活動によるキャッシュ・フロー	△671	515
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	△31
現金及び現金同等物の増加額	1,872	16
現金及び現金同等物の期首残高	9,872	9,856
現金及び現金同等物の期末残高	11,745	9,872

## ■連結株主資本等変動計算書

(自平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			新株 予約権	少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計			
平成22年3月31日残高	3,364	3,660	31,955	△427	38,552	1,120	△2,286	△1,165	10	113	37,511
連結会計年度中の変動額											
剰余金の配当			△391		△391						△391
当期純利益			3,828		3,828						3,828
自己株式の取得				△4	△4						△4
自己株式の処分			△0	5	5						5
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)						△177	△344	△522	△4	1,656	1,128
連結会計年度中の変動額合計	—	—	3,437	0	3,437	△177	△344	△522	△4	1,656	4,566
平成23年3月31日残高	3,364	3,660	35,392	△427	41,990	942	△2,630	△1,688	5	1,769	42,077

## 財務トピックス

## TOPICS

### ■「DBJ環境格付」自動車部品メーカーで全国初の2年連続最高ランク取得

当社は、株式会社日本政策投資銀行(DBJ)による環境格付で、昨年度に続き2年連続して最高ランクの評価を受けました。これは生産時におけるCO<sub>2</sub>排出量の分析や、ゴム製品の軽量化技術による自動車の燃費改善への貢献などが評価されたものです。これに伴い、当社は同銀行から優遇金利による「環境格付融資」を受けました。調達資金は国内工場の環境対応などの投資に活用してまいります。



# 会社概要

## 会社概要 (2011年3月31日現在)

社名	西川ゴム工業株式会社
英文社名	NISHIKAWA RUBBER CO.,LTD.
設立(創業)	昭和24年4月(昭和9年12月)
資本金	33億6,448万660円
従業員数	1,266名
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自動車用部品 ゴム・樹脂シール製品、内外装製品等</li> <li>●一般産業資材 住宅関連製品、土木関連製品、化粧用パフ、 建機用ゴム製品、医療用ゴム製品等</li> </ul>

西川ゴムホームページ <http://www.nishikawa-rbr.co.jp>

ナチュラル販売ホームページ <http://natulove.com>

## 国内拠点 (2011年3月31日現在)

本社	広島県広島市西区三篠町二丁目2番8号
広島営業所	広島県広島市西区三篠町二丁目2番8号
大阪営業所	大阪府大阪市中央区伏見町二丁目6番6号 ザ・タナベビル6階
名古屋営業所	愛知県刈谷市築地町五丁目7番地1
東京営業所	東京都世田谷区若林一丁目18番10号 みかみビル11階
浜松営業所	静岡県浜松市中区常盤町145番地1 浜松MHビル7階
宇都宮出張所	栃木県宇都宮市元今泉三丁目7番21号
山口出張所	山口県下関市長府扇町4番地1
安佐工場	広島県広島市安佐北区安佐町大字久地3723番地1
吉田工場	広島県安芸高田市吉田町吉田1489番地23
白木工場	広島県広島市安佐北区白木町大字三田9531番地
三原工場	広島県三原市沼田西町小原200番地39

## 役員一覧 (2011年6月28日現在)

代表取締役社長	西川正洋
代表取締役副社長	山本文治
専務取締役	児玉照三
常務取締役	三好修仁
常務取締役	勝丸幹夫
常務取締役	高杉雅信
取締役	西川泰央
取締役	福岡美朝
取締役	米山昌一
取締役	片岡伸和
取締役	丸目義博
常任監査役(常勤)	濱本繁樹
社外監査役	加藤寛
社外監査役	白井龍一郎

## 海外拠点 (2011年3月31日現在)

<p><b>アメリカ</b>  <b>NISHIKAWA COOPER LLC</b>          Headquarters:          324 Morrow Street, Topeka          IN 46571 USA          Novi Office:          39550 Orchard Hill Place Drive Novi          MI 48375 USA  <b>Nishikawa of America, Inc.</b>          39550 Orchard Hill Place Drive, Novi          MI 48375 USA</p>	<p><b>中国</b>  <b>上海西川密封件有限公司</b>          中華人民共和国上海市松江区玉樹路1216号          〒201600  <b>広州西川密封件有限公司</b>          中華人民共和国広東省          広州市花都区汽車城東風大道東側          〒510000  <b>西川橡膠(上海)有限公司</b>          中華人民共和国          上海市長寧区仙露路88号太陽廣場E2701          〒200336</p>
<p><b>タイ</b>  <b>Nishikawa Tachaplalert Rubber Co., Ltd.</b>          399 Moo 3 Ratchasima-Chokchai Rd.          Thumbol Nuongbuasala          Amphur Muangnakornratchasima          Nakornratchasima 30000 Thailand</p>	<p><b>メキシコ</b>  <b>Cooper Standard Automotive Sealing de Mexico S.A. de C.V.</b>          Av. Mexico No.101 Parque Industrial          San Francisco          San Francisco de los Romo          Aguascalientes C.P.20300 Mexico</p>
<p><b>インド</b>  <b>Anand Nishikawa Co., Ltd.</b>          Plot No.32 Huda Sector-18          Gurgaon-122002 Haryana, India</p>	<p><b>イギリス</b>  <b>Nishikawa Rubber Co., Ltd. Europe Branch</b>          Cooper Standard House          Redgrave Close Parkway          Cross Point Business Park          Coventry CV2 2UU UK</p>
<p><b>韓国</b>  <b>NISHIKAWA BUSSAN KOREA Inc.</b>          大韓民国慶南金海市進禮面松岬里941番地</p>	

# 株式情報・株主メモ

## 株式情報 (2011年3月31日現在)

### ■株式の状況

発行可能株式総数 **48,343,000株**

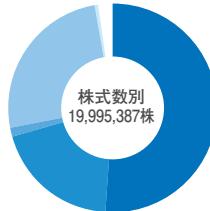
発行済株式の総数 **19,995,387株**

株 主 数 **1,385名**

### ■株主構成比率



1,141名 (82.38%)	個人その他
175名 (12.64%)	その他法人
30名 ( 2.17%)	外国法人
24名 ( 1.73%)	金融機関
14名 ( 1.01%)	証券会社
1名 ( 0.07%)	自己名義株式



10,237,727株 (51.18%)	個人その他
3,896,681株 (19.49%)	その他法人
296,000株 ( 1.48%)	外国法人
5,018,199株 (25.11%)	金融機関
125,792株 ( 0.63%)	証券会社
420,988株 ( 2.11%)	自己名義株式

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	郵便物送付先	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
定時株主総会	毎年6月開催	電話照会先	☎0120-176-417
一単元の株式数	100株	ホームページURL	<a href="http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html">http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html</a>
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日	公告の方法	日本経済新聞に掲載する
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社	株式に関する住所変更等のお届出先およびご照会先	(証券会社に口座を開設されている株主様) 口座のある証券会社 (証券会社に口座を開設されていない株主様) 上記電話照会先
株主名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社 証券代行部		

▶お知らせ 2011年6月28日付で、一単元の株式数を1,000株から100株に変更いたしました。

### 単元未満株式(100株未満の株式)をお持ちの株主様へ

当社の株式は100株が1単元(売買単位)となっており、100株に満たない株式(単元未満株式)は市場で売却することができません。

単元未満株式は当社に対して買取請求(売却する)または買増請求(買増して100株にする)ができますので、ご検討くださいますようお願い申し上げます。

#### ■お問い合わせ先

〈証券会社に単元未満株式をお持ちの株主様〉 口座のある証券会社  
〈特別口座に単元未満株式をお持ちの株主様〉 上記電話照会先

#### 【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり(株式会社証券保管振替機構)」を利用されていない株主様には、株主名簿管理人である上記住友信託銀行株式会社に特別口座を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更などのお届出は、上記電話照会先にお問い合わせください。

#### <具体例>

